

第1章 総 則

1 目 的

本基準は、水道法、水道法施行令、水道法施行規則、日立市水道事業給水条例及び日立市水道事業給水条例施行規程第 11 条に基づき施工する給水装置工事について必要な事項を定め、給水装置工事の適正な施工を図ることを目的とする。

<解説>

本基準は、配水管又は給水主管の分岐から水道メータ（以下、「メータ」という。）までの材料、工法その他工事上の条件に関する指定事項、給水装置工事に係る図書の作成及び手続き等に関する事項、給水装置工事の計画から設計・施工に必要な基準等、本市の標準的な情報を提供することにより、給水装置工事が適正かつ円滑に行われることを目的とする。

2 給水装置の種類

(1) 専用給水装置（専用栓という。）

1 戸又は 1 箇所の専用に供するもの。

<解説>

1 戸とは、一般住宅等に使用する場合の基本的単位であって、生活を営む住宅において生計を同じにする者の集団の単位である。

1 箇所とは、工場事務所、劇場、足洗い、泉水等世帯概念で把握することができない建物の場合である。

(2) 特別給水装置（特別計量栓という。）

1 戸又は 1 箇所の専用に供するもののうち特別な用途又は臨時に給水するもの。

(3) 湯屋給水装置（湯屋栓という。）

湯屋営業の用に供するもの。

(4) 私設消火栓

消火の用に供するもの。

3 給水装置工事の種別

(1) 新設工事

新たに給水装置を設ける工事をいう。

(2) 改造工事

給水装置の口径又は管種の変更、給水栓等の増設又は一部撤去及びメータの口径変更のための工事をいう。

(3) 撤去工事

不要になった既設給水装置の全部を撤去する工事をいう。

(4) 給水主管工事

2戸以上の一般住宅等に給水するための工事をいう。

<解説>

(2) 改造工事

ア 分岐口径及びメータ口径の双方又はいずれか一方を変更する工事。

イ 分岐箇所、配管位置、給水栓位置、管口径若しくは管種を変更する工事又は既設管を取り替える工事。

ウ 既設の給水装置に接続して、さらに給水栓を増設する工事又はメータ二次側の一部を撤去する工事。

(3) 撤去工事

今後使用されない給水装置を分岐用給水用具にて元止めするとともに、道路内の給水管を撤去する工事。

なお、分岐箇所が T 字管、割 T 字管及びチーズ等の場合は、切管等を使用して直にすること。

(4) 給水主管工事

開発行為等により造成された宅地に、給水管を新たに布設する工事。メータ取り付けは行わず、止水栓止めとすること。